

令和7年度 第3回 学校運営協議会 議事録

校名	府立 西寝屋川 高等学校
(准)校長名	金沢 加代

開催日時	令和 8年 2月 18日(水) 15:00 ~17:00
開催場所	府立西寝屋川高等学校 1階 校長室
出席者(委員)	樫田(摂南大)、福留(寝屋川第八中)、北川(自治会)
出席者(学校)	金沢(校長)、藤井(教頭)、畑(事務長)、中島(首席)、辻(首席)
傍聴者	豊福(進路指導主事)
協議資料	<ul style="list-style-type: none"> ・令和7年度44期生の進路先速報 ・令和7年度学校経営計画及び学校評価(評価案) ・令和8年度学校経営計画及び学校評価(計画案) ・令和7年度学校教育自己診断(結果) ・令和7年度第2回授業アンケート(結果)
備考	

議題等(次第順)

- | | |
|--------------------------|-----------------------|
| ① 令和7年度44期生の進路状況について | ④ 令和7年度学校教育自己診断(結果) |
| ② 令和7年度学校経営計画及び学校評価(評価案) | ⑤ 令和7年度第2回授業アンケート(結果) |
| ③ 令和8年度学校経営計画及び学校評価(計画案) | |

協議内容・承認事項等(意見の概要)

- ① 令和7年度44期生の進路状況について
- ・1月末時点で進学先が決定している生徒は学年全体の52%、就職先が決定しているのが35%となっている。
 - ・進学希望者に関しては、AO入試や指定校推薦入試などの年内入試で進路先を決定する生徒が多い。一般入試受験予定者は13名。
 - ・就職に関しては、近年、高卒求人が非常に多い。
 - ・学校斡旋による就職希望者49名のうち49名が内定。(就職率100%)
 - ・公務員希望者6名のうち6名が内定。
- ② 令和7年度学校経営計画及び学校評価(評価案)について
- ・評価指標である学校教育自己診断において、生徒による評価は多くの項目で数値の減少が見られる一方、教職員による評価は向上が見られる。
 - ・進路への意識に関する学校評価から、1、2年生時点から意識を高められる働きかけが必要である。
 - ・業務量が変わらない中、教員数の減少があり、一人当たりの業務量が増加している。教員の増員がなければ解決が難しいのではないか。
 - ・校務分掌の見直しや、ICT機器の活用など業務のスリム化等の必要がある。
- ③ 令和8年度学校経営計画及び学校評価(計画案)
- ・「一人ひとりのニーズに応じた学習」、「人権教育」、「安心で安全な学校生活」、「職場環境の改善」などをより強調して盛り込んでいる。
 - ・ストレステストの内部分析、学校教育自己診断の結果等よりフォロー体制は整っているといえる。
 - ・働き方改革に関連し、朝の時間外労働対策として、次年度より校時の変更を行う。
 - ・道路交通法改正に伴い、自転車登校について、より一層の教育が必要ではないか。また、生徒引率の際にもより一層の注意が必要である。
- ④ 令和7年度学校教育自己診断(結果)
- ・生徒のあらゆる教育活動の満足度の低下が見受けられる。
 - ・教職員の自己診断に関して、多くの教育活動に関する数値が上昇傾向にある。生徒への波及効果が課題である。
 - ・保護者の自己診断に関しては、回答数の少なさが改善点である。
 - ・「プライバシーは守られている」の回答に関して、10%程度の否定的な生徒への対応が必要ではないか。
- ⑤ 令和7年度第2回授業アンケート(結果)
- ・全教科で第1回(7月実施)から第2回(12月実施)にかけて数値の向上が見られ、授業者の工夫や努力がうかがえる。

日時	令和8年 6月中旬 予定
会場	府立西寝屋川高等学校 1階校長室